

表9 SPFマウス群の検査及び処置

病原体	供試抗原 ¹⁾	検査時期及び検査頭数		検査方法 ²⁾	処置
		時期	頭数		
センダイウイルス	MN	1か月毎	退役動物から10匹を 無作為抽出	CF	抗体陽性群・同居群 ³⁾ 全殺
マウスニューモニアウイルス		"	"	ELISA IFA	"
マウス肝炎ウイルス	Pr	"	"	CF	"
リンパ球性脈絡髄膜炎ウイルス		"	"	ELISA IFA	"
エクトロメリアウイルス		"	"	ELISA IFA	"
マイコプラズマ プルモニス		"	"	菌分離	陽性群・同居群 全殺
緑膿菌		"	"	菌分離	"
シトロバクター ローデンチウム		"	"	菌分離	"
サルモネラ		"	"	菌分離	"
サルモネラ ティフィムリウム	K-28	"	"	AGG	抗体陽性群・同居群 全殺
バスタツレラ ニューモトロピカ		"	"	菌分離	陽性群・同居群 全殺
コリネバクテリウム クチェリ	CK-1	"	"	菌分離	"
		"	"	AGG	抗体陽性群・同居群 全殺
バシラス ピリフォルミス	MSK RT	"	"	ELISA IFA	"
ヘリコバクター ヘパチカス		"	"	菌分離	陽性群・同居群 全殺
ネズミジアルジア		"	"	鏡検	"
ネズミスピロスクレウス		"	"	鏡検	"
ネズミ盲腸蟻虫		"	"	鏡検	"
大腸菌	<i>E.coli O15 a,c:K</i> (B)	"	"	菌分離	"
皮膚糸状菌		"	"	菌分離	"
サルモネラ エンテリティディス	EC-5	"	"	AGG	抗体陽性群・同居群 全殺
ネズミヘキサミタ		"	"	鏡検	陽性群・同居群 全殺
ネズミトリコモナス		"	"	鏡検	陽性の場合は種群を更新
ネズミアメーバ		"	"	鏡検	"
脳心筋炎ウイルス ⁴⁾					
狂犬病ウイルス ⁴⁾					
マウスアデノウイルス ⁴⁾					
ネズミロタウイルス ⁴⁾					
レオウイルス ⁴⁾					
マウスバルボウイルス ⁴⁾					

注 マウスの健康状態、異常な点等については全て記録する。死亡したマウスについては病理組織学的検査等を行う。

1) 供試抗原は、他の適切な株を使用してもよい。

- 2) 同等な検査方法があればその検査法を採用してもよい。検査方法は、その妥当性が検証され、保証された方法で実施すること。 ELISA：免疫酵素抗体法 IFA：間接蛍光抗体法 AGG：凝集反応 CF：補体結合反応
- 3) 同居群とは、陽性群と完全に隔離されていない群をいう。
- 4) 国内で発生がない（又は重要度が低い）ものについては、抗原、試験法及び処置については発生国が実施している方法を重視する。